

さとうホームの皆様、この度は素晴らしい家を作っていただきありがとうございました。

初めての出会いは、私たち夫婦が、モデルハウスやネットで住宅を探している時に、何気なくインターネットを見た、「子育て世代応援」というキャッチフレーズを見て、妻と、「営業マンがしつこく来ないって書いてあるから、今度話だけ聞きに行ってみない？」と、軽い気持ちで話をしたのがきっかけでした。電話で打ち合わせの日程のアポを取り伺ってみると、相手をしてくれたのは社長！？ドキドキしながら話をしていると、月々の給与と1カ月の支出等を細かく聞かれ、家を建てるためには、土地と住宅の金額以外に見えない支出（司法書士報酬や土地の売買手数料、水道加入料などなど100万以上掛かる）その中でどれくらいの住宅ローンが組め、建てられる、おおよその家の規模を説明いただき、社長の親身になった説明とふわ～とした口調(笑)とその後届く、社長からの毎回のお手紙が何か新鮮で、信頼できると思い、お願いすることとなりました。

いざ、土地の購入となった時から、将太君が担当・現場監督となってくれ、我が家の家作りをサポートしてくれました。CGによる間取り作りや、外壁・屋根の色選び、色々と無理を言いましたが、夢の実現に向け、一緒に真剣になって考えていただきました。

今、自宅が完成し1か月を迎えようとしていますが、入居して感じていることは、アパート住まいの時とは違い、子供が大声を出し、走り回っていても周りを気にしないでいいので、親子共々、ノビノビと暮らしています。

ただ、床や壁がキズ付くんじゃないかと、少々ヒヤヒヤする場面もありますが…\(^o^)/(^o^)/笑

ただ、後悔もしています。それは、床下収納を付けておけばよかった…。1階にもう一部屋小さくてもいいから付けておけば良かったと…。

実際入居してみて家具を置いたり生活をしていると、子供がまだ小さい我が家は、生活の拠点が1階にあり、子供を遊ばしたり、おもちゃを来客から見えないようにするために、もう一部屋ある方がよかったなと感じています。

まあ、完成してから言っても仕方ありません。現在の予算で建てられる、最高の家を建てたのですから。

これから何十年も住んでいき、もし、リフォームや建て替えをする時は、社長になった将太君にお願いし、将太君の子供様が、現場監督をしてくれるかもしれませんね。その時まで、末永くよろしく願いいたします。

萩原 達也
友香
大芽